

学力向上に効果のある取組事例

白杵市立川登小学校

⑰校内研修などによる授業改善

「振り返り」の充実をとおした「表現力の育成」

本校の学校研究では、下記のような児童の実態・課題に基づき「振り返り」の充実をとおした「表現力の育成」をテーマとし、授業改善を図っている。

【実態・課題】

- ①少人数のため、人間関係や発言者が固定化し、複数の意見が対立・並立する機会が少ない。
- ②「わかった」と思い込み、新たな考えをもったり、新しい方法にチャレンジする意欲に欠ける。

【手立て】

(1) 振り返りを充実させるための準備

新大分スタンダードに基づき、振り返る場面を見据え、つきたい力を明確化した「めあて」「課題」を設定する。

(2) 表現力の育成

振り返りの場面では、単に感想を述べるのではなく、ペア学習の場を設定し、学習内容や学びのプロセスを振り返らせ、表現させることをとおして、自分の学びや考えを確認させ、表現力及びメタ認知能力を向上させる。

(3) 多様な意見の交流

多様な意見と出会わせるために、ICT機器（Zoom）を活用し、臼杵市内外の他校との合同授業・交流授業を推進する。

(4) 補充学習の充実

学習内容定着のため、授業時や放課後での補充学習の実施



ペア学習による振り返り活動



茨城県常陸太田市立水府小・中学校との交流授業

少人数の強みを生かした個別指導の充実

本校は少人数であるが、以下の取組を日常的に実施することにより更なる少人数・個別対応の機会を増やし、児童の意欲を高めるとともに、つまづきや困りに対して臨機応変かつ迅速に対応することとしている。

(1) 教科担任制の導入

算数・理科・外国語等における教科担任制による授業及び、複数学級の同一時間指導（主に技能教科）を実施→教職員の専門性深化・人的時間的余裕の生み出し・複数担任制による安全面の確保・習熟度に応じた個別指導の実施

(2) 児童の困りや習熟度に対応した少人数・個別指導

複式授業解消教員による授業実施→複式授業解消（習熟度別学習やTTを組み合わせ更なる少人数指導実施）

(3) 「縦割り班」活動

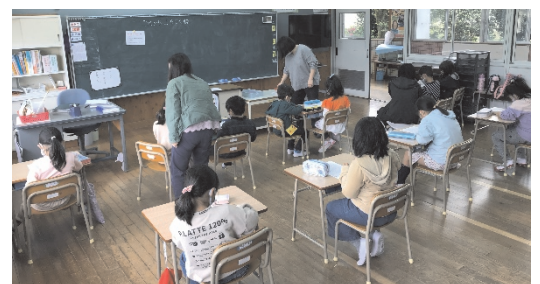
高学年児童の自立を促すとともに、一人ひとりに責任を持たせ、活躍の場を拡大→児童の責任感と自信・自尊感情の向上（やればできる！）

(4) 外部人材・地域素材の活用

「紙漉き体験教室」をはじめとした各種行事や「読み聞かせ」などの取組に、多数の地域住民や保護者が参加。地域素材の追求による問題解決学習の充実→表現力の向上・多様な考え方・感謝の気持ち・地域を愛し誇りに思う気持ち



教科担任による授業（理科・月のうごき）



複数学級同一時間指導（複数担任制）